

某工場 PR館

物流の単位としてのコンテナ。

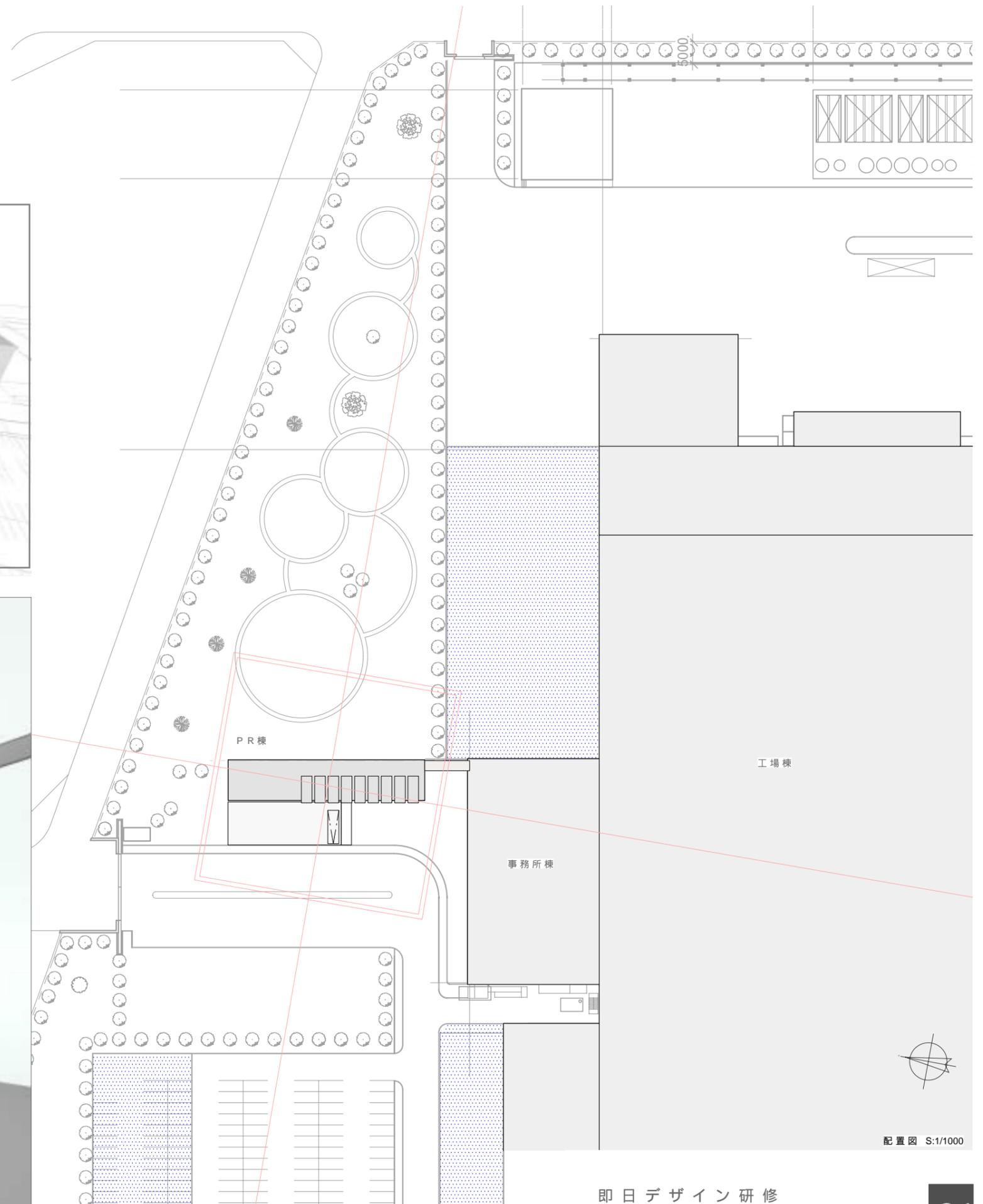
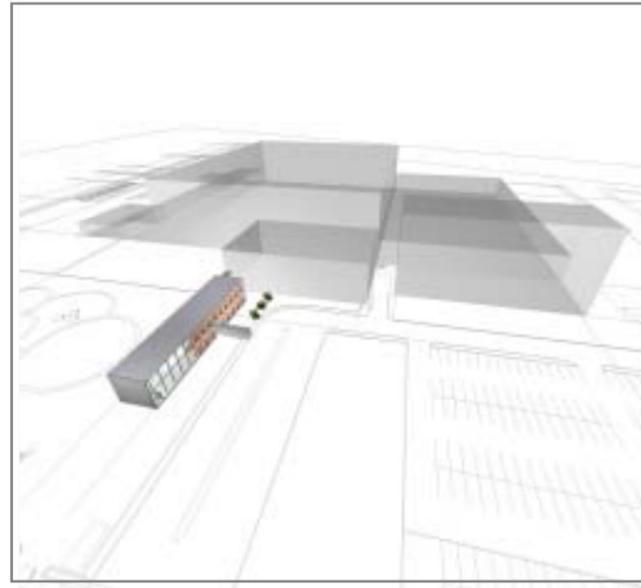
コンテナによって運び込まれた材料から製品が生まれ、それらの製品はまたコンテナによって運び出されていく。

本計画では

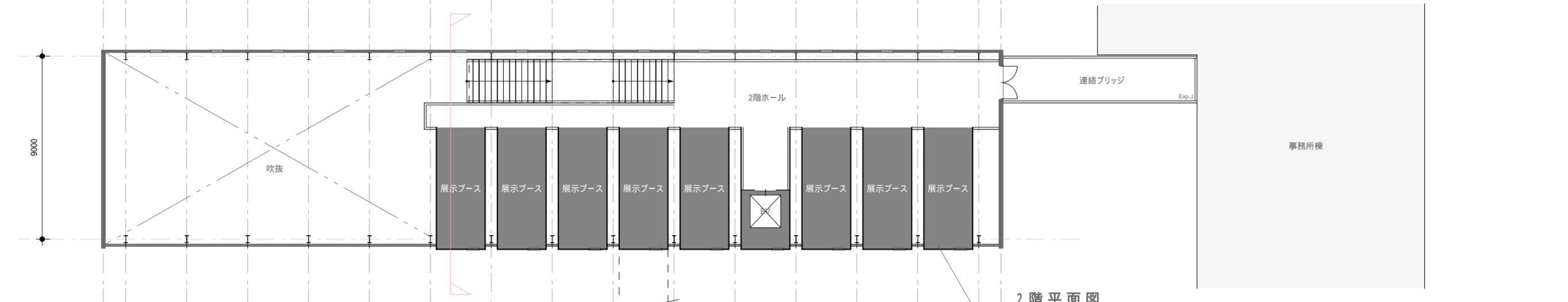
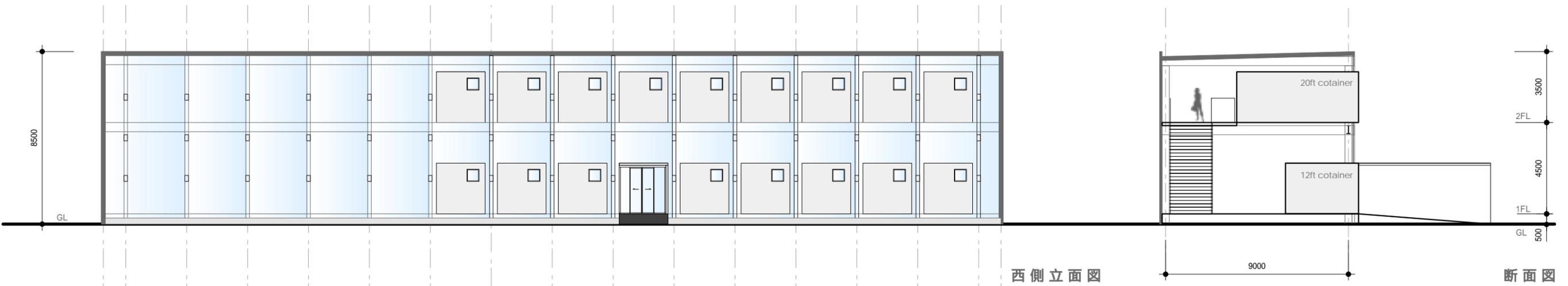
コンテナを明快な量塊として建築内に取り込むことで、コンテナを単位として流れる工場のシステムを建築そのものが具現化することを試んでいます。

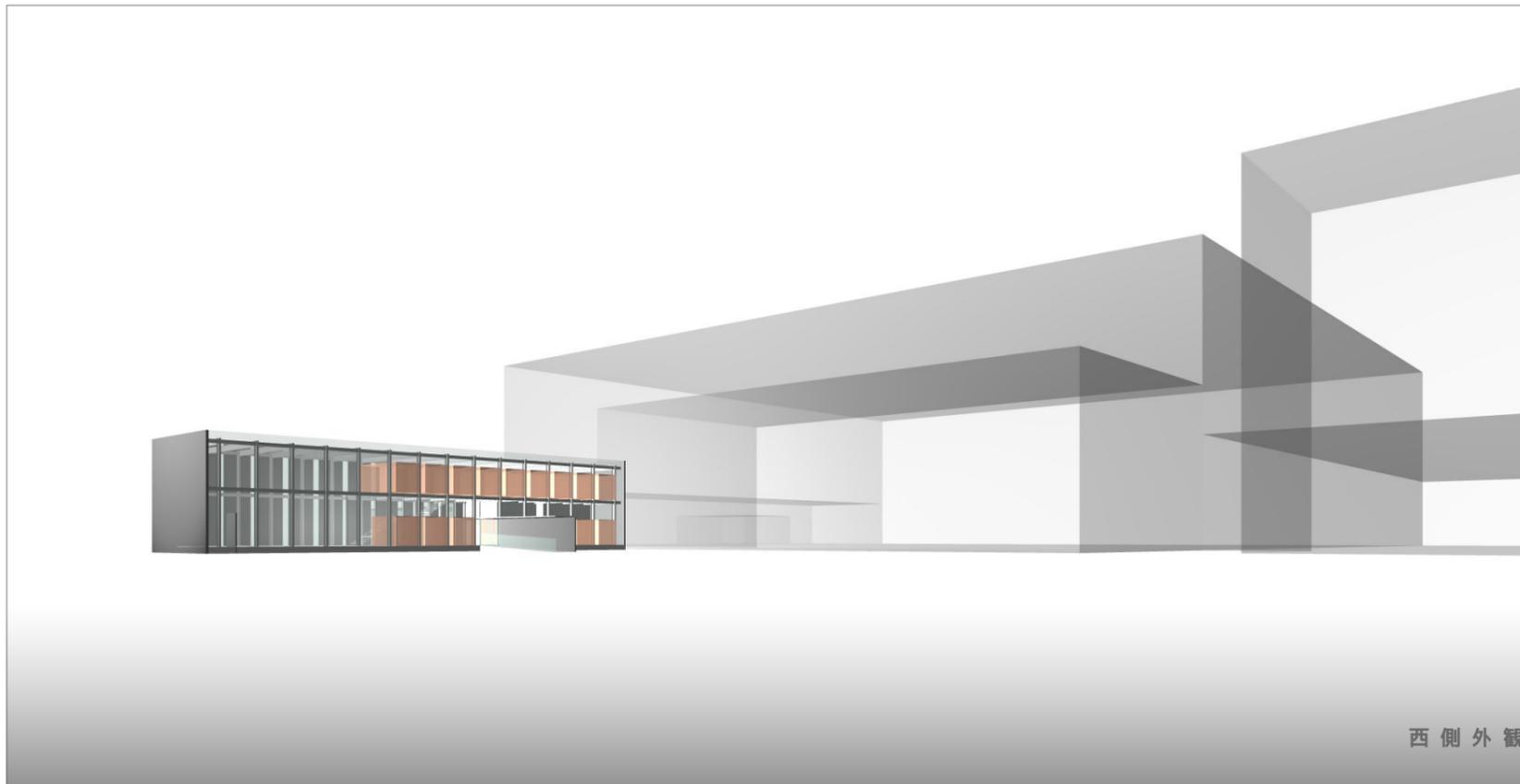
透明な建築に差し込まれたコンテナのボリュームは展示ブースとして機能します。

パッケージされた製品の中身に期待をかきたてられるように、不透明なコンテナもまた来訪者の好奇心をかきたて、施設のPR効果の一役を担う装置となります。

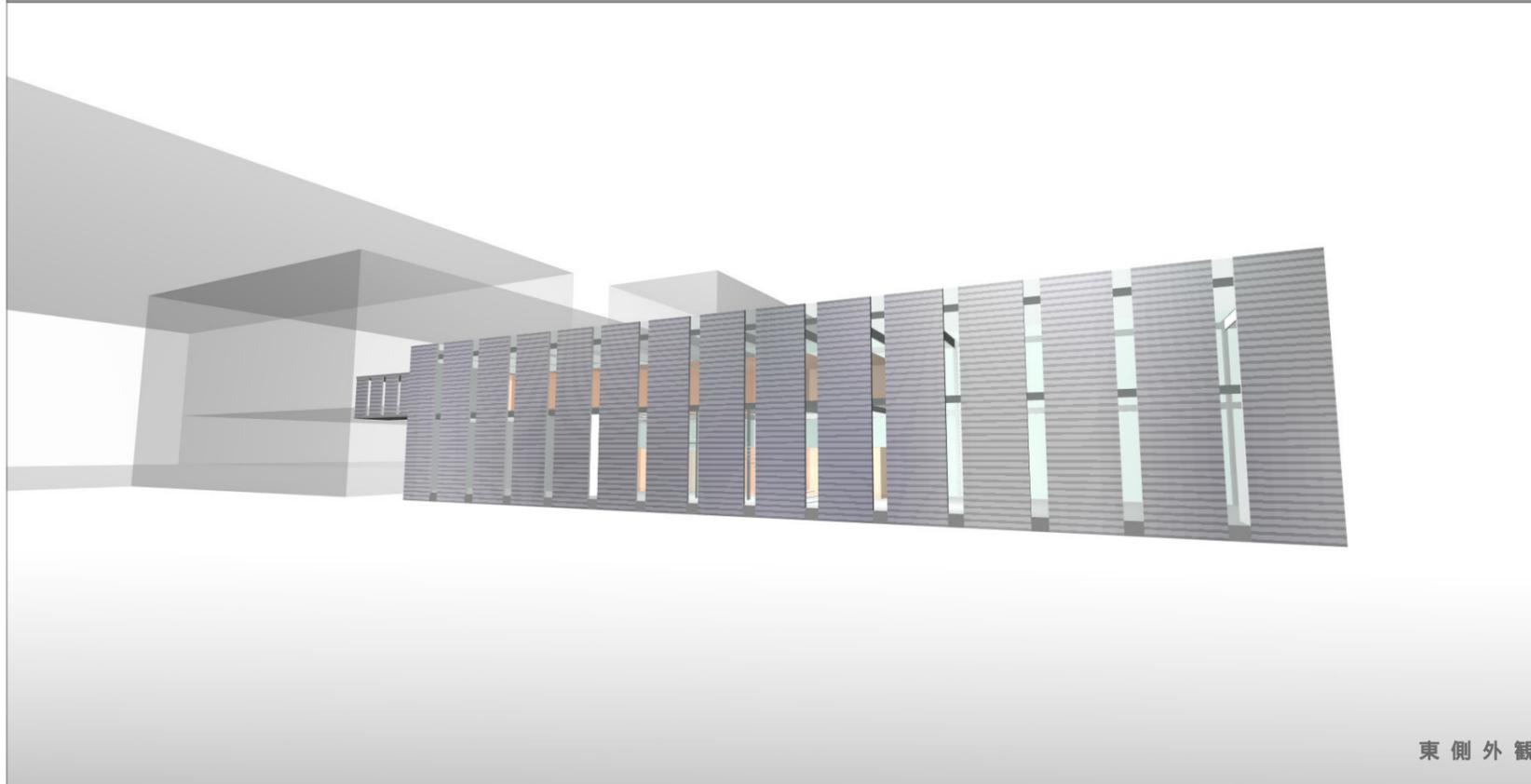
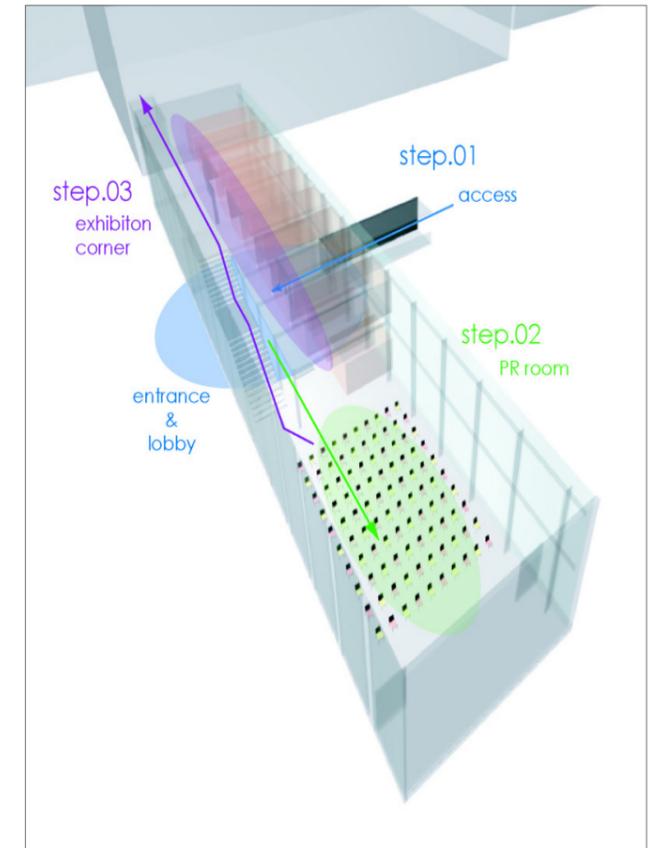


配置図 S:1/1000

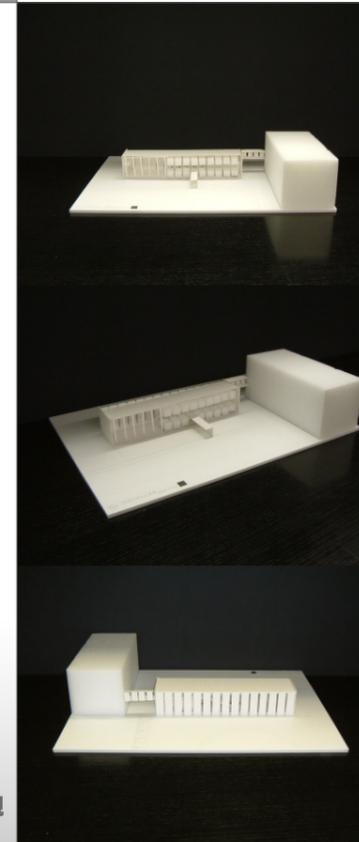




西側外観



東側外観



模型写真

建築の主動線は施設のメインアプローチに並んで配置され明快な内部構成によって工場内への接続をスムーズにします。

step.01

・主動線・車寄からのアクセス
エントランスホール兼ロビーへ出る

step.02

・ロビーからPRルームへ出る
説明及びデモンストレーション

step.03

・上階へ上がり、展示ブースを経て
工場棟への連絡ブリッジへ